

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地3選

科目名	資源管理論	4単位	(ふりがな)	なが	しま	ひろ	みち
(英文名)	Resource Management	担当者	長	島	弘	道	
授業のねらいと概要: 産業革命以後科学技術の進歩によって利用可能な資源の種類・範囲は拡大されたが、今日では拡大に伴う問題も指摘され、資源を管理しつつ活用することが重要になってきている。本講義では次のような項目を中心に展開したい。(1)資源管理に関わる今日的課題 (2) 農村資源を中心とした資源管理の思想・制度・団体 (3) 日本の資源管理 (4)持続可能な開発							
教科書と参考図書: 特に用いず、必要に応じて資料配布							
評価法: 前期試験(無し)、後期試験(有り) 年間2回以上レポート提出。このレポートは単位取得のためには不可欠。提出日以後は受け付けず							

【授業計画】

回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備	回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備
第1回	I 序 講義の進め方、評価の方法	第16回	(3)同上
第2回	資源の定義	第17回	(4)水害
第3回	資源管理に関わる今日的課題の概観	第18回	(5)農村資源の利用・活用の事例 森林資源—白神山地—
第4回	II 農村資源の管理—思想・制度・団体— 1. イギリスの場合 (1)資源の種類と管理	第19回	(6)同上 里山
第5回	(2)資源としての景観	第20回	(7)同上 グリーンツーリズム
第6回	(3)資源管理に関する制度・団体 ナショナルトラスト	第21回	IV 持続可能な開発 (1)定義と系譜
第7回	(4) 同上 自然保護協議会、田園地域委員会	第22回	(2)欧米における施策の展開
第8回	2. アメリカ合衆国の場合 (1)国立公園制度の成立と展開	第23回	(3)開発途上国における施策の展開
第9回	(2)自然保護団体		
第10回	(3)水資源管理問題の事例 —農業生産と水利用—		
第11回	(4)同上 —ダム問題—		
第12回	3. スイスの場合		
第13回	4. インドの場合		
第14回	III 日本における資源管理 (1)明治以降の水資源の利用・管理の展開		
第15回	(2)同上		